



えんだより



2026年1月5日

こばと小規模保育園

あけましておめでとうございます
今年もどうぞよろしく願いいたします



2026年が始まりました。お正月はどうお過ごしでしたか？
今年は長い年末年始でしたので、どこかへお出かけされたり、帰省されたり、お家でのんびりされたりといろんな過ごし方をされ、もしかしたらこのお休みで生活リズムが乱れた方もいるのではないかと思います。
幼児期は「食べる」「寝る」ことがとても大事で、十分に保障されるとしっかりと遊ぶことが出来ます。
ここからまた子どもも大人も、早起き、早寝をして睡眠リズムを確立し、食生活も配慮しながら規則正しい生活に整えていきましょうね。

～イヤイヤ期は一人ひとりにとって意味のある“成長の証” “自我の芽生え”～

最近よく「イヤイヤが始まって…」「自分で！自分で！ってしたがるんです」という声が聞こえてきます。
ちょうどちいばっぼの年齢0歳児から2歳児はイヤイヤ期の真っ只中！！この時期の子どもは「やってみたい」「でもうまくできない」という葛藤の中にいます。自我が育ち始め、自分の意思を伝えたいという気持ちが強くなる一方で、思い通りにいかない現実にはイライラするのです。イヤイヤは“わがまま”ではなく、“自立への入口”なのです。一見わがままに見えても実は「自分の存在を確認する」ために行動しています。イヤイヤを通じて子どもが「こうしたら伝わる」「これは違う」と学んでいて、その行動一つひとつが社会性の第一歩につながっています。
大切なのは「どう関わるか」 イヤイヤ期の上手な乗り越え方をご紹介しますね。



①「自分で選べる」ことで自信を育てる

子どもは「自分で決めたい」という気持ちを強く持っています。「これとこれ、どっちがいい？」と大人が選択肢を絞って伝えてあげることで、子どもは「自分で選んだ」と感じ、自信を持つことができます。
ちいばっぼでも「ヤダー」が出たときは、「どっちにしてみる？」と声をかけてみると、子ども達は自然と落ち着いていきます。選択肢を与えることは、コントロールを奪うことではなく、安心できる範囲で自由を持たせる工夫です。

②「共感の言葉」で気持ちを受け止める

「いやだったね」「悲しかったね」と共感の言葉をかけると、否定ではなく理解してもらえたと感じ、心の安心となります。ちいばっぼでも「そうだんだね」と気持ちをくみとり、「どうしたらいいのかな？」と一緒に考えるようにしています。大人が解決を急がず、共感をすることで、子どもは“聞いてもらえた”という満足感を得ます。

③「できた！」をたくさん一緒に喜ぶ

イヤイヤ期の子どもは「できた！」という成功体験によって、少しずつ「イヤ」が減っていきます。
「すごいね！自分でできたね！」とおおげさなぐらい一緒に喜んであげましょう。失敗しても「やってみたね、もう一回やってみようか」と肯定的に声をかけることが、次の意欲につながります。子どもの小さな「やりたい」を見逃さないことで、自己肯定感が少しずつ積み上がっていきます。

<お知らせとお願い>

- ・ 雪が降りましたら、雪遊びの準備をお願いします。
(全クラス雪用のズボン、ジャンパー、雪用の手袋(ミトン)、靴下、帽子、長靴など)
濡れたり汚れたりしましたら、そのままお返ししますので、また持ってきていただきますようお願い致します。
- ・ 登降時のジャンパー(コート)は引掛けられるように紐をつけて下さい。
- ・ コドモンの登降園の打刻漏れがあるようですので、玄関に入られましたら、先に打刻をしてからお部屋にお入り下さい。



《あひるぐみ》

❀ ○○ ○○ くん ○さい
○○. ○. ○ 生まれ

ちいばっぼに新しい仲間が増えました。

○○ ○○ちゃんのところから、めだかさんをいただきました。ありがとうございました。

子ども達は、毎日水槽の中で泳いでいるめだかさんを見て楽しんでいますよ！

大事に育てていきたいと思っています。



1月の行事予定

1	木		年
2	金		始
3	土		休
4	日		み
5	月		
6	火		放デイと交流会
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		
12	月		成人の日
13	火		
14	水		
15	木		弁当の日
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		
22	木		
23	金		職員会
24	土		父親懇談会
25	日		
26	月		誕生会
27	火		
28	水		
29	木		
30	金		避難訓練
31	土		